

KGAL

'91 冬季号
1991年12月1日発行



NO.37

目次

KGALレポート) いつまでも賑わう19番ホール …1	ゴルフQ&A ……10
平成3年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技 …4	新規加盟倶楽部紹介 ……12
JGAハンディキャップ未実施倶楽部の 競技参加申込手続きが'変わります。 ……7	お知らせ ……16
平成4年度 関東ゴルフ連盟競技日程表 ……7	常務・理事会 ……17
平成4年度 関東ゴルフ連盟月例競技日程表 ……7	月例競技成績表 ……18
平成3年度 関東グランドシニアゴルフ選手権競技 ……8	表紙photo 飯能ゴルフ・クラブ・関東シニア決勝(撮影・深井昌司)

 関東ゴルフ連盟

いつまでも賑わう19番ホール

ゴルファーのマナーの低下がいわれてひさしい。ゴルフ人口の急増、それも若い人が増え、ルールもマナーも身に着けずにコースに飛び出す人が多い。またゴルフ倶楽部は単にプレーするための着替えの場所、終わったらそそくさと帰るのが最近の一般的な風潮だ。

真のクラブライフとはどういったものか、その典型を見に相模カンツリー倶楽部を訪ねてみた。

心とむクラブハウス

小田急電鉄・江ノ島線の中央林間駅からゆっくり歩いて6、7分。道は自然とコースに到着するようになっている感じだ。大イチョウの並木が晩秋の柔らかな日差しを浴びて鮮やかな黄色に変わっていた。

庇が大きく出た平屋造りのクラブハウス。瓦屋根。訪れる度に心とむハウスである。メンバーの人達の自慢の憩いの場所でもある。

季節のいい、春から秋まで、4、18番グリーンが目の前に広がるテラスでは先上がった人達が、グラスを傾けている光景が良く見られる。

ハウス内は大きく食堂が広がっている。視界を遮る柱がないのが特徴だ。志和池支配人によると「200人が一度に会食できるように、柱のない設計にした」。昭和40年の改築で、現在にいたっている。



相模名物「蛍の光」の指揮をとる行天良一さん(96歳)

そして、理事室や、理事長室といったものも無い。クラブによっては洗面所まである豪華な役員室もあるが、ここでは個室がほとんど無い。皆の顔が見える、これがメンバー同士の交友に役立っていることは確かだろう。

門を潜ったら平等

理事長以下、各理事がいて、競技委員長、フェローシップ委員長、コース委員長、キャプテン……がいるのは他のクラブと同じだが、部屋の例でも分かるように、役員だからといって偉ぶるところはない。「私たちは幹事役。皆の苦情を受ける役です」とある役員がいていた。理事改選も2年毎に行われ、半数ずつが交替するが、(任期4年)特定の人か長くどどまるケースはほとんど無いという。

相模の伝統「門を潜ったら平等」が随所に感じられる。





気の合った同士でパーティができ上る



司会も毎年 行天さん



まさしく“時間の許す限り”歓談が続く

会社の役員をやっている人が多い。しかし、ここではそうした役職は一切関係ない。ゴルフの腕前についての情報は直ぐ伝わるが、社会的な地位などに就いてはお互いに知らない人が多いという。極論すれば、ここにあるのは、長幼の序だけであり、純粹にゴルフを楽しむ人達の集まりである。

賑やかな19番ホール

夕刻からハウス内はプレーを終わった人達で賑わい始める。ソファで、あるいはテーブルで軽く杯を傾けながらラウンドを振り返る輪があちこちでできる。

この日は3つのコンペが行われた。さらに時間が進み、コンペの表彰式。その後も、アルコールがさらに入って和気あいあい。4人用のテーブルが何時の間にか、2つ、3つと連なっていく。

プレーした後、さっと帰る人は“なんだあいつは、一緒にプレーした仲間に対して失礼だ”となる。いつの間にかこうした雰囲気の出米上がり、19番ホールは益々賑やかになっている。そして談笑はいつまでも続く。

食堂のオーダーストップはない。いたればいつでもいる。日が高い夏は8時、9時までが普通という。立ち去り難いと言う方がいいかもしれない。碁盤を囲んで碁敵と一戦を交える人もいる。こちらもなかなか終わらない。これぞクラブライフの真骨頂。その最たる光景が、その年最後のプレー日、12月30日の夕刻である。

相模名物「蜚の光」。窓越しはるか彼方に見える丹沢山系、大山に夕日が沈む頃、集まった全員が「蜚の光」を歌う。指揮を執るのは96歳の大長老、行天良一さん。

「ほたるのひかり まどのゆき
ふみよむつきひ かさねつつ……」
いろいろな声が混じっているが、心にしみる歌声がハウス内にこだまする。30年ほど前から始まって、恒例の行事になっているというが、メンバーの心が一つになる時でもあろう。

大きい従業員の協力

メンバーがこうして心置きなくクラブライフを楽しめるのは、クラブ側、従業員の理解によるところが大きい。

「我々がのんびりできるのは従業員のお陰ですよ」と多くのメンバーが口を揃えていった。従業員は永年勤めている人達が多い。

10代からキャディーをやり、その後食堂、あるいは事務に変わる。メンバーとはそれぞれ古いつき合いになる。「昔は名前をいわず“オーイつけ”といて、“オーイ、勘定”という人が多かった。それが通った。コンピューター処理する今はさすが皆が名前をか

きますが……”つまり皆が顔見知りということである。そして食堂の賑わいは、先にも触れたが、“オーダーストップがない”というところにも起因している。のんびり、伸び伸びと19番ホールを楽しむ。従業員もクラブライフというのはこういうものと理解しているのが大きい。

毎年創立記念日に永年勤続者をメンバーの前で表彰している。これも会員と従業員の交友に大きく関係している。

そして食堂の賑わいは、先にも触れたが、“オーダーストップがない”というところにも起因している。のんびり、伸び伸びと19番ホールを楽しむ。従業員もクラブライフというのはこういうものと理解しているのが大きい。

毎年創立記念日に永年勤続者をメンバーの前で表彰している。これも会員と従業員の交友に大きく関係している。

地の利

良き伝統は引き継がなければならない。年配者がその役をやる。新しくメンバーになった新人にまず朝の挨拶を教え、風呂の中でのマナーも裸の付き合いで教える。いきなり浴槽に入る人。出る時桶をきちんと整理しない人、体を拭かない人。こうしたことをする人は先輩メンバーから風呂の中で注意される。

相模が伸び伸びとしたクラブライフを楽しめる最大の要員は、地の利にあるとも言える。都心に近く、

なお駅から近い。日曜日には来場者の6割ほどが電車で来る。車の運転をしないからゆっくり酒が飲める。さらに言えば、メニューが安い。オーダーストップがないからいつまでもいられる。

将来を見据えて

今後の最大の問題は、周囲との共存である。昭和6年の開場当時は一面の野原も、今やコースの回りは住宅でびっしり埋め尽くされている。ホールがネットを越えて住宅に飛び込むことがある。今、クラブではこうした住宅との近接ホールの改造を検討している。10、20年を見据えて、と言うことで、この号が出

る頃には方針が決まっている。

しかし、会員の中にはコース改造は反対意見もある。会報にはこうした反対意見も乗せ、論争を展開させている。これも自由なクラブの空気を反映するものである。

レポート・近藤裕二
イラスト・山県和彦



平成3年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成3年9月25日(水)26日(木)

●開催コース 飯能ゴルフクラブ 6,483ヤード パー72 18ホール ストローク・プレー



念願の初優勝を果たした島本都男選手

六十にしてなお闘志つきず

文・宮元昭雄(KGA広報委員)

写真・石川博英・深井昌司(KGA広報委員)

“本命なき闘い”まさに混沌とした決勝ラウンドであった。

第1日目を終って島本都男(武蔵)が75でトップ、2打差に山田八郎(東名)大塚 太(東名厚木)芝入俊雄(姉ヶ崎)鈴木昭二(富士宮)成宮秋良(横浜)とベテランが一線に並んでいた。そして3差で山口梅吉(横浜)林善兵衛(飯能)小川博道(多摩)土居 喬(藤ヶ谷)と強豪が追撃可能なところにズラリと顔をならべている。

飛ばし屋に有利といわれる飯能のタフなコース設定に、どの選手たちも泣いていた。

「届かないホールが多くて参ったよ」9ホールでパーオンはたったの2ホールだ。キャリアからしてベテランと言われる面々もさすがに距離の長さに苦戦を余儀なくされた様である。地元の利で期待された日高の岡野幸男も「こうなったら、一発逆転を狙うぞ」と初日の出おくれ

にファイトむき出しである。

最終組が18番ホールを終るまでに女神が微笑むことになるのか、その優勝の行方は皆目予想がつかないという大激戦となった。

今年も予選競技は過去の参加実績を上回る498名という史上最高のエントリーを記録した。予選3会場では来年度の運営はむづかしいのではないかと、と早くも大会事務局では一カ所の会場増設をめぐってテンヤワンヤだ。

尾関競技委員長も「会場を増やす必要が出てきたことは、それだけ裾野が広がっていくことだから基本的には大変良いことだ」と会場増設に乗り気な発言。

それだけでなく、ジュニア、女性、シニアと連盟主催競技の参加者数は年々増える一方であることは間違いない。特にシニアの参加資格は55歳からとその年齢制限がゆるめられるとすれば、当然増加は必至でその対応を急がねばなるまい。他のアマ競技に比べて、特にシニア競技に人気が集まっているだけに尚更のことであろう。

参加選手の殆んどが30年以上のキャリアを持ち、かつては若い時代にクラブチャンピオンになったとか数々のタイトル・ホルダーであったという人が多い。それだけ第一線を退いたものの、シニアの世界で新しい挑戦意欲をかりたてられての出場であるから夢は限りなく熱いものがあるに違いない。

この競技では60歳で新しく参加する者を“初年兵”と呼んでいる。古参兵にとって、年々“若手”が出てくることは優勝への道が遠くなることになるか一方、「まだ若い者には負けん」という意気込みもわいてきて、それがこの大会をいっそう盛り上げる。観戦する者にその熱気が伝わってくる。

禁句なれどもつい“レバ・タラ”

さて競技は後半3ホールを残して多摩の小川、日高の岡野、それに横浜の成宮の3選手が猛追してトップを走る島本に肉迫していた。まさにダンゴ・レースだ。比較的フロント9を上手にまとめたが、バック9で崩れる選手が目につく。グリーンの微妙なアンジュレーション

に泣いたり、天をあおぐ者、グリーンの早さを意識して打ち切れずにくやしがる者。レバ・タラは禁句とはいえ、闘い終って口から出る言葉は、あれがなければ……と後悔と無念さを口走る者が殆んど。

10年連続決勝出場で表彰を受けた佐藤進(中山)も、「100ヤード先のピンが見えなくなったよ」と、痛めた足をひきずりながらホールアウトした。38歳からゴルフを始めて31年間、その足跡を感慨深げに追憶しながら「酒もタバコも止めて、今はゴルフだけが人生の生甲斐だ」と、倒れるまでこのシニアには出る、と言い切る。

“夢よもう一度”誰しもがその夢を果したいという願いが熱気となってこの大会を盛り上げてくれる。だからレバ・タラも選手たちにとっては大いなる反省の意味につながるのかも知れない。

17番を終ってトップに1打差まで追い上げていた成宮、小川の両選手も最終ホール、グリーンに負け惜しみ。「初日はよく決ってくれたが、今日はバタバタのゴルフ、苦しい試合だった。逃げ切れてほっとしている。しばらくはクラブを握りたくない心境だ」と、通算153ストロークで初の栄冠を掌中にした島本選手。武蔵、大利根、千葉とシニアのチャンピオンを確得しているベテランであっても、関東一のビッグ・タイトルにはどうしても手が届かなかったが、「これでやっと本懐を遂げた」と満面にその喜びを見せて周囲の祝福を受けていた。

無欲といえようそのなる。目前の敵を崩しながら、いかに自分のペースで闘い続けるか。ベテランたちの熾烈な闘いは、数々のエピソードを残して二日間を亘る決勝ラウンドは終わった。

一球一打を満喫

いつものことながら、シニアの選手たちのマナーの素晴らしいところが今年も目に焼きついた。共に老いを感じながらも仲間意識が交差するなかで、スポーツとしての楽しみを一球一打に満喫している。パット・ラインを読むのに必要以上の時間をかけない、いわゆるスロープレーにつながる動作を誰一人としてやらない、テキパキとした流れ、それは長年の経験が体にしみついた一種のリズムなのであ



腕は衰えないが視力は衰える

うか。最終ホールではお互いカ帽子をとり握りして健闘をたたえ、さわやかに和やかな談笑をみるにつけ、そこにはスガスガしさのみが見られる光景でもある。

とかく若手のアマ競技はスロープレーが目立ち過ぎると悪評が多い。真のゴルファーの育成は先にマナーにあることを指導していくべきであろうと、実感として思わされた終日であった。

飯能の庄野理事長も「31年間も使い続けた高麗グリーンだったので、多少不良個所があって、選手諸君には迷惑をかけたが、雨も降らずに無事大会が終ったことは何よりだった。

この大会を通じて特に感心したことは、すべての選手が大変行儀が良いこと、マナーの素晴らしいことに敬服した。それが一番印象に残った」と語っていたが、今年は例年になく台風続きで長雨の被害が続出し、コース管理に意をつくす関係者の苦勞も並大抵ではなかった。一年かかりの整備で完璧に近いコースコンディションに仕上げた。その舞台で選手たちも充分に自からの技量を試した筈だ。選手も管理の関係者もお互いに満足感を味合ったことであろう。

改めてコース関係者に心から敬意を表しておきたい。

成績は別表のとおり。165ストロークまでは日本シニアへの出場権を確保、来年の再会を約しながらいつまでも談笑の続くパーティーは盛りあがっていた。



連続10年出場の特別表彰を受けた佐藤進選手の若々しいスウィング

平成3年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー147名 出場139名

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所 属, 第1ラウンド (アウト イン 計), 第2ラウンド (アウト イン 計), 合計. Lists 139 players and their scores.

※特別表彰(連続10回出場) 佐藤 進(中山)

JGAハンディキャップ未実施倶楽部会員の 競技参加申込手続が変わります。

これまで、未実施倶楽部の会員がKGA主催競技に参加する場合は、各競技ごとにハンディキャップ査定をKGA事務局で行い、規定内のハンディキャップであれば参加を認めておりましたが、4年度より次記のように変更となります。(10月16日理事会にて決定)

- ①申請は未実施倶楽部会員で、KGA主催競技に参加する者に限る。
②申請書の受付は、毎年12月末日と6月末日を締切日とする。
③申請は所定の用紙に必要事項を記入し、倶楽部単位で行なうこと。

④受け付けられた申請書をもとに毎年1月末日までに7月末日までに査定を行い、倶楽部経由で証明書を発行する。

⑤有効期間は査定日より6ヵ月間とする。
上記のように変更となりましたので、4年度関東女子、関東アマ、月例競技に出場を希望される会員の手続は、平成3年12月末日まで、KGA事務局まで申請書をおとどけいただくこととなります。

尚、詳細につきましては、10月21日付「JGAハンディキャップ査定に関する件」をご参照下さい。不明の点につきましては担当委員または事務局にお問い合わせ下さい。

平成4年度 関東ゴルフ連盟競技日程表

Table with 4 columns: 月 日 曜, 競技名, 開催コース, 備考. Lists tournament dates and locations from May to September.

Table with 4 columns: 月 日 曜, 競技名, 開催コース, 備考. Lists tournament dates and locations from May to September.

平成3年11月20日現在 ※一部変更になる場合があります。

平成4年度 関東ゴルフ連盟月例競技日程表

Table with 4 columns: 月, 開催日, 開催コース, 申込締切(2週間前). Lists monthly tournament dates and deadlines.

平成3年度 関東グランドシニア ゴルフ選手権競技

- 開催日 平成3年10月24日(木)
●開催コース 我孫子ゴルフ倶楽部 6,258ヤード パー72 18ホール ストローク・プレー



▼10年連続出場で特別表彰をうけた大内田栄選手

▲3連覇の偉業を成し上げた山口梅吉選手

童心に還る日

文・和田憲一(KGA広報委員)
写真・石川博英(KGA広報委員)

事務局の話では、今年のグランドシニアほど気のもんだ大会はこれまでなかったという。

なにしろエントリー数が史上最多の192名となったからである。(ちなみに昨年は171名、出場者155名)当然のことながら大会準備は全員が出場することを前提として行なうわけだから、この数字はちょっとしたパニックをまきおこした。

開催倶楽部の我孫子ゴルフ倶楽部とは事前に万全の打ち合わせをしたが、その際の子想ではせいぜい多くても180名、当日欠席が10%とみて170名を割るとふんでいた。192名となるとすべてが狂ってくる。開催倶楽部には無理をお願いして、スタート時刻を7時30分としたものの、それでもお天次第ではサスペンデット、競技不成立も考えられる。

さぞかし気のもめる日々であったろう。そして『不心得者』と怒られそうだが、今回だけは一人でも欠場者のふえることを心の中では望んでいた。(局長談)

こうして迎えた10月24日、秋を飛びこえ初冬のような肌寒い朝ではあったが、久しぶりに太陽が顔をのぞかせた。河西競技委員長は、朝の競技委員のミーティングで「昨晚、めでたくも天皇家に初孫がお生まれになった。今日は晴天」

というさすか傘寿を迎えた方なんともユニークなあいさつがあって、競技委員諸氏は今年度最後の任務についた。

70にして矩を踏えず

出場者はゴルフ界の大先輩、それもきら星のごとくい

ならば大会である。40代、50代の競技委員が『鼻ったれ小僧』なら事務局員など『鼻もたれない小僧』と思われても仕方あるまい。したがって、畏敬の念をもって接し、口のきき方にも細心の注意を要する。

スタート担当委員(今年、60歳でシニア入りした)が、「今日はご承知のような出場者数でございますので、なにとぞプレーの迅速化にご協力ください」と丁寧にお願いしたところ

「なに、じゃあだぐルグと早くまわりさえすればよいのか、スコアはどうなってもよいというのか」

「……いいえ、そういうわけでは、どうぞスコアも両立して下さい」

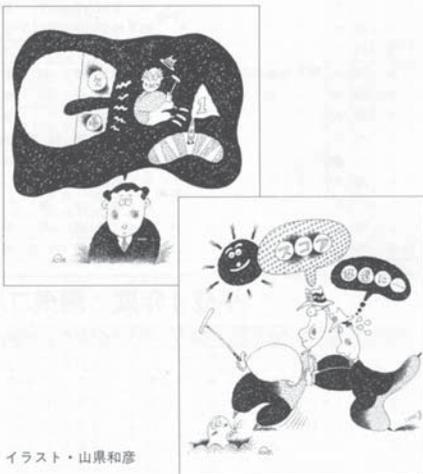
と、まあこんな具合である。

また、前の組と2ホールもあけたパーティのお一人に、おそろおそろ注意したところ、

「いや、後の組がついてこないの、ペースダウンしたのじゃ」

こうなると完全に『貫禄負け』である。同じ事を関東ジュニア、関東アマなどの選手が口にしようものなら、それはえらいさきになること必至である。しかし、「年の功」とはおそろしいもので『まあ、仕様がないやあ』と苦笑して終りになるところが面白い。

なにしろ70歳といえは孔子様が『おっしゃったように』心



イラスト・山県和彦

の欲するところに従って矩を踏えず』の世代である。言動は常に人の道にかなっているのだから、当然ゴルファーとしてもルールとマナーは踏えないのである。

その悠悠道らざるプレーぶりは風格にあふれ、とかく問題の多い、ジュニア、あるいはプロに見せたいものである。

関係者の心配は杞憂におわり、午後4時4分、最終組がホールアウト、表彰式・パーティーも20分には始まり、あいさつどうり『時間の許す限り』歓談が続いた。

来年も元気な姿で再会することを約束しながら午後6時散会となった。

平成3年度 関東グランドシニアゴルフ選手権競技成績表

エントリー192名 出場者 175名

Table with 4 columns: Rank, Name, Club, and Score. It lists the top performers of the tournament, including names like 山口梅吉, 藤井博武, and 長谷川順治.

※特別表彰(連続10回出場) 大内田栄(日本)

ゴルフQ&A

1992年規則変更について

ゴルフ規則は、R&AおよびUSGAが中心になって4年毎に見直しを行うことが慣例となっているが、1992年度は、その規則見直しと変更の年に当たる。今回の規則変更は、比較的小幅なものであり、処置や解釈について明確さを欠く点のあったところや、規則では想定していなかったが現実の問題としてしばしば紛議を生じたようなケースについての補正、補完がその殆どである。その主な変更箇所は次のとおりである。

なお、日本ゴルフ協会は、この機会に条文の平易化に加え、文言の明確化と統一のための字句修正を広範囲にわたって行うとともに、付属規則IおよびIVの構成を改めることとした。

時差の関係から日本では10月4日に規則変更についてのプレスリリースが行われましたが、その際発表された「1992年度規則変更の要点」の前文にはその全体が上記のように説明されています。

新しいルールブックは12月中旬に発刊されると思いますが、その前にいくつかの変更をとりあげてみました。

1. 定義23 プレーの線および定義24 パットの線について

定義23 プレーの線

「プレーの線」とは、プレーヤーがストロークした球にとらせたい方向をいい、意図するその線の両側に若干の合理的な幅を持たせたものとする。プレーの線は、地面から垂直に上方に及ぶが、ホールを越えてその先方には及ばない。

定義24 パットの線

「パットの線」とは、プレーヤーがパッティンググリーン上でストロークした球にとらせたい線をいう。ただし、第16条1項の場合を除き、パットの線は、プレーヤーの意図する線の両側に若干の

合理的な幅を持たせたものとする。パットの線は、ホールを越えてその先方には及ばない。

これは1989年にUSGAから提案され、数年の討議を経て今回新しく定義として規定されたものです。従来「プレーの線」は**裁定13-2/27**で「……その線の両側および目標物を越えた向こう側に若干の合理的な広がり」と延長部分とを夫々加えた線である。」と説明され、また、パットの線は**第16条1項e**で「……この場合に限り、パットの線は、ホールを越えてその先方に延長しない。」と規定されていることから、プレーの線もパットの線も共にホールを越えてその先方に及ぶものとされていたのですが、この定義追加を機にその内容が変更されました。

この変更に伴い**第13条第2項**（球のライ、意図するスイングの区域およびプレーの線の改善）は「……プレーの線およびその延長で、ホールを越えてその先方の若干の合理的な長さの部分……を改善したり、改善させてはならない。」となり、また**第16条1項c**（ホールの埋跡、ボールマーク、その他の損傷修理）でも「……グリーン面のその他損傷は、そのホールでの続いてのプレーで、そのプレーヤーの援助となるようなときは、いかなるものもこれを修理してはならない。」と新しく追加して規定されました。これによってプレーヤーが、ホール周辺のスパイクマークを修理すれば、プレーヤーの球がグリーン上にある場合だけでなく、グリーン近くのスルーザグリーンに止まっている場合でも、この項の違反になる訳です。スパイクマークの修理については**ゴルフ規則第1章エチケット**に「……そのホールでの（全員の）プレー終了後に修理すべきである。」とあり、プレーヤーは特にホール周辺の保護に配慮し、プレーの遅延にならないように注意の上、グリーンを離れる前にボールマーク、スパイクマーク等を修理するようにしたいものです。

※イ 2. 第4条第4項a クラブの選定、補充および取り替え

……なお、クラブの補充または取り替えに際しては、そのコースでプレーしている他のプレーヤーがブ

レーのために選んだクラブを借りてはならない。この規則はご存じのように1988年から「借りてもよい」ことになり、それに伴い「……ただし、そのラウンドの残りの部分については、借用者のみがその借用クラブを使用できる。」と規定されていたのを、それ以前の規則に戻したものです。

※ロ 3. 第24条第2項c 動かさない障害物の中で紛失した球

ウォーターハザード内およびラテラル・ウォーターハザード内の場合を除き、球が動かさない障害物の中で紛失したという合理的な立証があるときは、プレーヤーは、罰なしに、別の球に取り替え、**第24条第2項b**に規定する処置をとることができる。

この新しい救済の追加は1987年にUSGAから提案されたもので、前回の改正に間に合わず今回に持ち越されたものです。なお、この規則を適用する場合は、その動かさない障害物の中に入った地点に球があったものとみなされ、地下の排水管または暗渠の中で球が紛失した場合で、その入口がハザード内にあるときは、球はそのハザード内にドロップしなければなりません。

この新しい救済の追加は1987年にUSGAから提案されたもので、前回の改正に間に合わず今回に持ち越されたものです。なお、この規則を適用する場合は、その動かさない障害物の中に入った地点に球があったものとみなされ、地下の排水管または暗渠の中で球が紛失した場合で、その入口がハザード内にあるときは、球はそのハザード内にドロップしなければなりません。

※ハ 4. 第25条第3項 目的外のグリーン

プレーヤーは、現にプレーしているホールのグリーン以外のグリーンに止まっている球をプレーしてはならない。

1990年のR&Aの提案により、プレーしてはならないことが、より明確にされました。従来でも、その処置を「しなければならぬ」と規定されていたので、実質的な変更はありません。

なお、「目的外のグリーン」について、この機会に正しく理解していただきたいのですが、これは現にプレーしているホールのグリーン以外のグリーン及びコース上の練習グリーンと練習ピッチンググリーン（第25条3項注参照）のことであって、各ホール2面のグリーンを持ったコースのクローズドになっているグリーンのことではありません。気候等の関係から、これは日本特有のもので、ゴルフ規則にはこの予備グリーンに関する規則がありません。従って委員会の措置として、予備グリーンは、通常コー

ス保護のため、プレー禁止の修理地とし、**第25条1b(イ)**による処置をとるよう規定しますが、JGA主催競技KGA主催競技の一部では本来のスルーザグリーンとしています。

また、予備グリーンは、規則上の目的外のグリーンではありませんが、**第5条3項**に規定する処置を準用することも出来ます。

この他の変更については、新しいルールブック発刊後、必要があれば改めて説明することにしたします。

(文責・KGA競技委員 田村圭司)

※イ 第4条第4項a クラブは14本が限度

α. クラブの選定および取り替え
プレーヤーは、14本以下のクラブをもって正規のラウンドをスタートしなければならず、そのラウンドについては、使用クラブは、このようにして選んだクラブに限定される。ただし、プレーを不当に遅延させない限り、プレーヤーは、
(i) 14本未満でスタートしたときは、合計して14本となるまで何本でも補充すること、および
(ii) 通常のプレーの過程でプレーに不適当となったクラブを他のクラブと取り替えることができる。
なお、クラブの補充または取り替えに際しては、そのコースでプレーしている他のプレーヤーがプレーのために選んだクラブを借りてはならない。

※ロ 第24条第2項c 動かさない障害物の中で紛失した球

ウォーターハザード内およびラテラル・ウォーターハザード内の場合を除き、球が動かさない障害物の中で紛失したという合理的な立証があるときは、プレーヤーは、罰なしに、別の球に取り替え、**第24条第2項b**に規定する処置をとることができる。なお、本項の適用に当たっては、球がその動かさない障害物の中に入った地点に、その球はあったものとみなす。地下の排水管または暗渠の中で球が紛失した場合で、その入口がハザード内にあるときは、球はそのハザード内にドロップしなければならぬ。第26条第1項を適用できる状況のときは、プレーヤーは、同条項に基づいて処置をとることができる。

※ハ 第25条第3項 目的外のグリーン

プレーヤーは、現にプレーしているホールのグリーン以外のグリーン上に止まっている球をプレーしてはならない。その球はこれを拾い上げなければならない。また、プレーヤーは、次の処置をとらなければならない。
すなわち、(a) ホールに近づかず、(b) ハザード外およびグリーン外の場所で、球の止まっている箇所中最も近い地点（ニヤレスポイント）をコース上に決定し、その地点から1クラブレンジ以内で、前記の(a)および(b)の条件を満たす所に、罰なしに、拾い上げた球をドロップしなければならない。拾い上げた球は、ふくことができる。
注： 委員会による別途の定めがある場合を除き、「現にプレーしているホール以外のグリーン」という用語の中には、コース上の練習グリーンおよび練習ピッチンググリーンを含む。

新規加盟倶楽部紹介

ザ・フォーラムカントリークラブ



1. 倶楽部名 ザ・フォーラムカントリークラブ
住所 埼玉県秩父市品沢坊ヶ入1641番地
電話 0494-62-1811
2. 開場年月日 平成元年10月7日
3. 理事長 山口 明
倶楽部代表者 理事長 山口 明
副理事長 前野 徹
4. 倶楽部分科委員長
競技委員長 本庄 正則
ハンディキャップ委員長 藤本 秀明
フェロウシップ委員長 小平 進
コースメイト委員長 吉岡辰次郎
5. 支配人 杉本 信夫(昭和17年5月7日生)
6. 倶楽部概要

雄大な秩父連山に囲まれ緑豊かな自然環境に恵まれた当倶楽部は都心より関越自動車道花園ICを経由して80km約1時間30分の秩父市に位置しています。「フォーラム」とは人と人、人と自然との「集い」を意味し、ゴルフを通じた本格的なクラブライフを堪能していただけることを念願し、メンバー主体の運営を基本としています。

32万坪18ホールコースは米国トッププロ、トム・ワトソンが世界で初めて設計監修をするなか完成されたものであり、正にトム・ワトソンのゴルフ理念が随所に発揮された「リンクスへの回帰」といえるでしょう。ペントグリーン2面をもつ各ホールは、挑戦的な攻めを要求するアウトコース、頭脳的に又、緻密な攻めの計算が必要なインコースとさながら米国の名門コースを彷彿させ、特に名物ホールとして4番170ヤードのショートホールは谷越えてグリーンの中程にバンカーが待ちかまえて、戦略・選択を迫る設計者のたくらみとしても楽しめることでしょう。しかしあらゆる局面で14本のクラブが必要になるよう配慮されており、ビギナーからシングルプレーヤーまで充分楽しめるフェアな平坦コースです。

クラブハウスに隣接して本格的な都市型ホテルも併設しゴルフと合せ、テニスや夏はプールとファミリーとらども楽しめるリゾートを展開しています。

小千谷カントリークラブ



1. 倶楽部名 小千谷カントリークラブ

- 住所 新潟県小千谷市大字坪野1231番地
電話 0258-82-5111
2. 開場年月日 平成元年7月26日
3. 理事長 山田 泰司(大正9年5月18日生)
倶楽部代表者 山田 泰司
小宮山鉄三郎
4. 倶楽部分科委員長
ハンディキャップ委員長 西巻 宏
競技委員長 関根 春高
5. 支配人 安達 寛(昭和8年4月25日生)
6. 倶楽部概要

ちちみ(縮布)と錦鯉の郷として名高い山梨水明の地、小千谷市の風光明媚な丘陵地に、当クラブは位置しております。越後連山を背景に、眼下に大河信濃川を望むならかな丘陵地に、樹木と池を巧みにレイアウトしたコースは、冬期間雪の下でゆっくりと休んだらいたが日覚める4月にオープンし、日本プロゴルフ協会会長、浅見勝一氏コース監修による、ゆったりとしたティグランド、微妙なアンジュレーションをもったフェアウェイ、戦略性豊かなハザード、思いきり攻められる大きなワングリーン、……美しく変化に富んだ18ホールです。

ビギナーには優しく、シングルプレーヤーには厳格さを求める自然を生かした、個性豊かな各ホールが、プレーするたびにゴルフの醍醐味を満喫させ、インコースNo.13PAR3では、池越の越後平野にむかっての雄大な打ち下ろしの爽快感を、お楽しみいただけるものと思います。

春には遠く雪をいただく越後三山、木々の芽吹、初夏にかけては新緑、秋には見わたすかきりの山々が一斉に彩られるという四季折々の自然の流れと美しさも堪能いただけます。

又、当地は、ほぼ県央に位置し、県内はもちろん、関越自動車道、北陸自動車道、新幹線等の交通高速化により、近隣の温泉に1泊あるいは日帰り、県外から訪れるプレーヤーも多く、特に関東方面からは至近距離のゴルフ場として、好評を得ています。

交通は関越自動車道(小千谷IC下車5分)新潟〜1時間、高崎〜1時間半、東京〜2時間半、新幹線(長岡駅)でも東京より2時間半でおいいただけます。

糸魚川カントリークラブ



1. 倶楽部名 糸魚川カントリークラブ
住所 新潟県糸魚川市大字蓮台寺1550番地
電話 0255-52-3838
2. 開場年月日 平成2年7月24日
3. 理事長 秋藤 義治(大正12年12月8日生)
倶楽部代表者 秋藤 義治 永野 敏郎
4. 倶楽部分科委員長

新規加盟倶楽部紹介

- コース委員長 反田 浩之
競技委員長 高橋 樹樹
ハンディキャップ委員長 猪熊 久典
綱紀委員長 加藤 喜一
特別委員長 森本 晴男
5. 支配人 小室 久敏(昭和18年3月30日生)
6. 倶楽部概要

新潟県の西端、日本海に面し、山と川と海の自然が豊かに残っている糸魚川市、その市街化区域内にある。

JR北陸線糸魚川駅から10分、北陸自動車道糸魚川ICから7分の至近距離に位置し、ゴルフ場からは壮大な日本海、日本百名山で知られる雨飾、焼山が、また良く晴れた日には遠く能登半島、北アルプスの白馬岳を望む大自然のパノラマは他に類を見ない。金井清一プロ監修の元で自然の地形を生かし、樹齢百年を超える赤松が随所に残されたコースは、プレーヤーの絶賛を博している。

アウトコースは、比較的フラットな設計で、多少ラフからも豪快にフルショットが楽しめる池越えのショットホール、クロスバンカー越えに池を配したホールなどあり、No.4番200ヤードのショットホールは、グリーン手前に大きなバンカーと狭い花道沿いに銘木があり、またグリーンも難しくスコアメイクのポイントとなる。全体的には距離を必要とする。

インコースは、高台にあり自然の景観を楽しめるが、打ち上げ、打ち下ろし、ドッグレッグと多彩な変化に富むホールが多く状況に応じた高度なテクニックと戦略性を要求するトリッキーなコースとなっており、距離よりも方向性を必要としている。

クラブハウスはひすいをイメージし丸みと緑を基調とした近代的な感じを醸し出した建物で、室内は明るく、各ホールを振り返りながらゆったりと寛いで戴けることとおもいます。

京カントリークラブ



1. 倶楽部名 京カントリークラブ
住所 千葉県山武郡芝山町山田1281
電話 0479-77-2222
2. 開場年月日 平成2年7月29日
3. 理事長名 谷村 裕(大正5年3月26日生)
倶楽部代表者 谷村 裕・吉園 二郎
4. 倶楽部分科委員長
競技委員長 有村 康男
ハウス委員長 秋富 公正
フェロウシップ委員長 西廣 整輝
5. 支配人 横山 茂(昭和22年2月27日生)
6. 倶楽部概要

日本の玄関口、成田国際空港に隣接し、関東でも名高い山武杉に囲まれた当クラブは、都心より約60km、東関東自動車

道利用、富里ICを降り、国道296号線を経由し、約20分。電車では、成田エクスプレスにて1時間、成田空港駅にて下車、タクシーにて約15分、と恵まれた立地でございます。

千葉県下、初の無農薬ゴルフ場として、各方面から注目を浴びている当クラブは、「自然と調和」をコンセプトに設計された、アメリカンスタイルの丘陵コースでございます。絶妙に配置された8つの池が14ホールに絡み、アンジュレーションがつけられたフェアウェイは落下地点が絞られ、フェアウェイを外すと深いラフが待ち受けております。またペントのワングリーンは大きなうねりを持ち、パーオンしても簡単にパーセーブができない、18ホール全てが息を抜くところが無く、プレーヤーの挑戦意欲を常にかきたてる戦略性の高いコースでございます。

プレー後は、コースの緑に映えるアーバングレーのクラブハウスにてお寛ぎ下さい、インテリアには随所に気品のあるフランス製のアンティーク家具・調度品が配置され優雅なムードをかもし出しております。

カレドニアン・ゴルフクラブ



1. 倶楽部名 カレドニアン・ゴルフクラブ
住所 千葉県山武郡旗本町長倉1658
電話 0479-82-6161
2. 開場年月日 平成2年10月7日
3. 理事長 米倉 功(大正11年5月25日生)
倶楽部代表者 早川 治良 室伏 稔
4. 倶楽部分科委員長 準備中
5. 支配人 畔上 文雄(昭和21年1月30日生)
6. 倶楽部概要

当ゴルフ場は都心から58キロの東関東自動車道富里ICより13キロ余の山武郡旗本町に広がる杉林の中に開発された18ホールズコースです。

開場は平成2年10月ですが、コース内をセパレートする山武杉の古木、充分に養生されたペントのワングリーン、うねるフェアウェイの醸す雰囲気はとても開場一年余のコースとは思えない落ち着いた風格を備えています。

当コースは同じ山武郡芝山町に2年半前に開場した富里ゴルフ倶楽部の姉妹コースとして、設計者(M・ボーレット)、施工者(熊谷組)も全く同じスタッフが開発しました。設計コンセプトも「TAM ARTE QUAM MARTE」(力と同様に技(頭脳)も)であり、ゴルフの原点であるスコットランドのリンクス思想を存分に盛りこんだコースであります。カレドニアンの特徴の第一はグリーン造り美と質の高さであります。二段、三段で構成されたペントのワングリーンは、その日のホールの位置によって、前日とは全く異なるコース攻略の戦略性を要求します。しびれるような微妙なタッチの早いグリーンこそがゴルフプレーの醍醐味であり、カレ

新規加盟倶楽部紹介

ドニアンのグリーンは、すでに内外のトッププロから「世界一級のグリーン」と高い評価をいただいております。

また、13番、18番のティグランド前に横たわる池は、その湖に連なる落バンカーとともに、そこに立つプレーヤーにカレドニアンの神秘性と格調高い感動を与えてくれます。果敢にパーディを狙うか、手堅く攻めるか、プレーヤーにその選択を迫るホールでもあります。

また4つのPAR3のホールは、それぞれ顔を異にし、ピンククラッグの立つ位置によっては、とてつもなく難易度の高いホールに豹変します。なかでも5番は水と花が青い空に映えて、どこか京都の庭園をしのばせる安らぎを覚えます。

又、カレドニアでユニークなもの一つに練習場があります。ハウス斜め前の練習場は「世界でもこんな練習場を見たコースは珍しい」と内外の来場者が驚嘆します。

最後にクラブハウスはコースにマッチした英国調をベースにした日本瓦の大屋根をいただく洋風建築です。レストランの窓越しに9番、18番ホールを眺望でき、カレドニアのゆとりあるクラブ・ライフの一端をうかがわせるものです。

ホウライカントリー倶楽部



1. 倶楽部名 ホウライカントリー倶楽部
住所 栃木県那須郡那須町野井千本松793
電話 0287-37-4111
2. 開場年月日 平成2年8月1日
3. 理事長 末松 謙一(大正15年3月2日生)
副理事長 渡邊牧太郎(大正6年1月21日生)
4. 倶楽部分科委員長
ハンディキャップ委員長 坂田耕四郎
競技委員長 池田 正雄
ハウス委員長 町田 良治
フェロシップ委員長 石川 武
5. 支配人 福田 憲雄(大正11年9月12日生)
6. 倶楽部概要

栃木県那須郡野井町の恵まれた立地に、ホウライ株式会社が所有している270万坪の土地の一角に44万坪を利用してゴルフ場を造成しました。造成にあたっては、カントリー倶楽部の原点にかえり、オーソドックスでまた同時にユニークなクラブライフをエンジョイできるようなゴルフ場を那須野井の地に展開しようと念願し建設致しました。

ゴルフ場設立を発表致しました第一の理由は、交通上の恵まれた利点であり、東北新幹線、那須塩原駅から20分の所に位置しているということ、更には東北自動車道、那須野井塩原インターチェンジより3分に位置しているという立地です。

コース設計は、米国の世界的設計家ロバート・ボンヘギー氏に依頼をし皆様のご期待に応えるべく努力致しました。

ロバート・ボンヘギー氏的设计思想は、遠くに見える那須

連山の山々の景色と近くを囲む濃い森を調和させ、湖をまわり、森や草原をぬってろうろうと曲がり、なだらかなうねりのあるコースをつくることで素材の素晴らしさを一層昇華させること、また光と影が次々と変化する万華鏡の中で、ゴルフファーマの皆さんがゴルフのスリルと興奮を楽しむだけでなく、周りの美しさに見とれてしまうようなコースにすべく努力をし、優れたゴルフ場とは初心者にもプロゴルファーにも目標を与え興奮させ達成の喜びを与えることができるコースであるという理念のもとに完成されました。

特に11番ホールはミドルホールにははかり短いホールですが、ハンディキャップ高いプレーヤー、および中級のプレーヤーにとっては最も難しいホールの一つです。ティからの正確なショットが要求され、左から右に曲がっており、フェアウェイ右側にはずっと大きな池が挟まっています。池の中の浮き島のグリーンは大きく起伏しているため、明らかに正確で高いショットで適切な距離を打つことが必要となり、かなり難しいテクニックを要求される思いでとなるホールです。

南茂原カントリークラブ



1. 倶楽部名 南茂原カントリークラブ
住所 千葉県長生郡長南町地引742番地
電話 0475-47-1111
2. 開場年月日 平成元年5月2日
3. 理事長名 石野 信一(明治45年3月13日生)
4. 倶楽部分科委員長
競技・ハンディキャップ委員長 岡 昭
ハウス・フェロシップ委員長 玉置 孝
キャディ・エチケット委員長 唐鎌 士郎
5. 支配人 大槻 是明(昭和9年3月24日)
6. 倶楽部概要

首都圏、箱崎から京葉道路又は湾岸道路を経由して、千葉東JCT(合流点)より千葉東金有料道路に入り大宮IC(一つ目)を降り三叉路を右折、一般道路を千葉外房有料道路に入りそのまま直進、板倉トンネルを経て国道128号線交差点を右折し茂原市外へ。茂原市役所を左に見て大多喜方面へ直進。給田交差点を直進し1km先を左折してコースへ。

都心から1時間30分、田園風景を楽しむながら長南町へ、給田の交差点を過ぎるとこもりした樺の木の間を丘陵が見えてくる。ここが南茂原カントリークラブで、万木城CCの姉妹コースでもあります。

コース造成には豊かな湧泉を生かし且つ自然を残し、再現することを基本とする日本古来からの庭園技術が聴き取り入れられ見事に再現されています。特に18番から展開する滝と、13番ショートホールグリーンを取り巻く池から12番へ流れる水域は、回遊式庭園を巡る思いです。

気候は温暖で豊かな自然に恵まれた、長南町のなだらかな

新規加盟倶楽部紹介

丘陵に平成元年5月2日オープンした南茂原カントリークラブは、33万坪の敷地に18ホールズ(7,063ヤード・パー73)で、コースは全体的にフラットながら、池やバンカーが巧みに配置されている。さらにフェアウェイ、グリーンともに微妙なアンジュレーションが付けられ、戦略的に、個々のプレーヤーの技量を最大限に試すことができる設計になっている。ショートホールは易しいほうであるが、ミドルホールは基本的に200ヤードは飛ばさないといふレベルは難しい。スコアメイクの鍵は「ティショットにあり、距離と落とし場所がポイント」戦略的にも心理的にも面白いコース造りになっている。

クラブハウスは、奈良の正倉院や東京の国立劇場おなじみの校舎造りの落ち着いた和風建築で、クラブハウスに入る正面奥のガラス越しに見える風景に圧倒される。また2階食堂から眺める風景はまるで一幅の絵画を見るようにすばらしく、見ているだけで十分楽しめる景観であります。

ガーデンゴルフ倶楽部



1. 倶楽部名 ガーデンゴルフ倶楽部
住所 茨城県稲敷郡東村大字大沼402
電話0299-79-1100
2. 開場年月日 平成2年5月20日
3. 理事長 田中保一郎(大正12年1月10日生)
副理事長 柴田 邦夫
4. 倶楽部分科委員長
競技・ハンディキャップ委員長 並木 章
フェロシップ、エチケット委員長 受川 久一
5. 支配人 村井 伍男(昭和16年4月20日生)
6. 倶楽部概要

当倶楽部は、大利根の豊かな流れと霞ヶ浦、また筑波の秀峰を望む美しい自然の中に平成2年5月20日に誕生致しました。その美しい自然には、いたるところ四季折々の花が咲き乱れ水面の青が織りなす調和の世界はまさにゴルファーのためのアメニティです。

「ガーデンゴルフ倶楽部」のメインテーマは、その名が示すとおり「庭園」でティグランド、フェアウェイさらにはグリーンサイドなどいたるところに四季の美しい花々が景観を見せるとともに各ホールをセパレートする樹木と滝々と水をたたえる池が戦略的コースを形作っています。

微妙な傾斜で構成されたフェアウェイが懐深く掘られている。さらに、大胆なアンジュレーションを持ち安易に攻めを許さない。グリーンまですべての要素が浑然一体となって美しいハーモニーを奏でる本コースの設計はこれまでに幾つもの名コースを手がけてきた経験豊かな設計家、小林光昭氏によるものである。

開場総面積709,064m²の内に9箇所の池と、90箇所のバンカ

一及び11箇所のグラスバンカーを配した設計はまさしく小林光昭氏の最新作であり、また代表作でもあります。ひとつとしてイメージホールのない巧みなレイアウトは常にゴルファーの挑戦意欲を駆り立て飽きさせることがありません。

値の高いコースとは言ってもなく質の高いクラブライフがあってこそ本格派と言えるのではないのでしょうか。

豊かなクラブライフを提供する「ガーデンゴルフ倶楽部」のクラブハウスはイタリア北部の伝統ある館をイメージした総面積5,600m²階建ての重厚な造りで高吹き抜けの落ち着いたロビー、フロントをはじめ浴室、便利なコンパルルームはもちろんのことレストランでは地元の新鮮な素材を四季に合わせて調和した「ワゴンサービス」もご用意いたしております。

ゲートをくぐった時からお帰りになるその時まで当倶楽部は常に暖かい「ホスピタリティ」をお客様をお迎えしています。

交通期間として東関東成田ICから国道51号を経て約30分大栄IC、常磐道土浦ICの利用も可能となっております。クラブバスの運行につきましては、JR成田駅西口より、8:00発、クラブバスより16:50発の送迎を行っております。

緑野カントリークラブ



1. 倶楽部名 緑野カントリークラブ
住所 〒375 群馬県藤岡市下日野239
電話 0274-24-6111
2. 開場年月日 平成2年9月14日
3. 理事長 大河原良雄(大正8年2月5日生)
倶楽部代表者 大河原良雄、松浦 均
4. 倶楽部分科委員長 進任中
5. 支配人 斎藤 博光(昭和27年4月13日生)
6. 倶楽部概要

緑野カントリークラブは、埼玉県東境に近い群馬県南部の藤岡市にあります。藤岡市は、古墳や城跡など文化財が数多く残されている由緒ある歴史の街でもあります。なかでも緑野カントリークラブのある西平井地区には、関東管領山上杉氏の居城であった平井城跡があり、わずかに残された本丸・二の丸・笹野と土塁と庚申塚に昔日のおもかげを見ることが出来ます。こうした由緒ある地域にある緑野カントリークラブは、周辺の自然、環境との調和を考慮し、ゴルフ場全体のイメージを「日本の伝統美」を基調として構成されています。クラブの名称「緑野」は和名類聚抄(略称和名抄・平安中期の漢和辞書・源順編、承平年間931-938年)にみられます藤岡市の歴史的地名「上野(緑野)郡上野郷」に因らなものです。

コースは、「自然に勝る造形なし」を設計思想として、名設計家の養れ高い加藤俊輔氏のデザインです。恵まれた地形を最大限に生かして、(1)周囲の自然と融けあう美しさに戦略性

新規加盟倶楽部紹介

を加味して(2)すべてのプレーヤーにインサイドワークを求め(3)訪れるたびに挑戦意欲をそそるゴルフコースとして仕上がっています。広いフェアウェイが狭くなく、地形の厳しさやひと味ひねった戦略性で難度を高めたホールが現れます。確かなゲームプランで攻めればグリーンが微笑みかけますが、安易な攻めには小悪魔が潜んでいます。変化に富んだ18章のドラマを演奏できます。

各ホールには、「日本の伝統美」の基本テーマにもとづいて俳句の季寄せによる花木を分けて植え、ホールイメージを表すと共に季節ごとに花や花実を觀賞できる様工夫されています。そしてクラブハウスは、純和風建築の優雅なたたずまいをみせ、中庭の庭園は、尾形光琳の「紅白梅図屏風」をモチーフとしたみこなものです。レストランには、総檜造りの多目的舞台があり、能、邦楽など日本の伝統芸能を演ずる場として、また、地域に伝わる郷土芸能を紹介する場として活用されています。

交通は閑越自動車道(藤岡IC下)で練馬から1時間15分、JR上越新幹線では、高崎下車、車利用で1時間20分です。



- ヒルクレストゴルフクラブ**
1. 倶楽部名 ヒルクレストゴルフクラブ
住所 栃木県安蘇郡田沼町大字船越2854番地
電話 0283-62-8111
 2. 開場年月日 平成2年9月11日
 3. 理事長 松崎 芳伸(大正2年3月22日)
倶楽部代表者 理事長 松崎 芳伸
副理事長 石川 芳夫
副理事長 高橋 治則
 4. 倶楽部分科委員長
コース委員長 戸張 捷
ハウス委員長 島田 滋敏
ハンディキャップ委員長 奈須野嘉幸
競技委員長 神宮 功右
フェロシッピング委員長 三田 達三
 5. 支配人 小久保喜平(昭和9年3月27日生)

6. 倶楽部概要

当ゴルフ倶楽部は都心から63km、東北自動車道で約1時間佐野藤岡ICから約20分、車で1時間20分前後で到着できる比較的距離にありま。

コースの近くには、有名な佐野厄除大師、又ハイキングコースとして親しまれている唐沢山などがあり、心なごむ豊かな自然、水と緑に恵まれた立地に位置しております。

ヒルクレストゴルフクラブの設計コンセプトは、バックレイより6.815ヤード、18ホールのセンシティブなコースレイアウトの中、滝がせせらぎ小川・池へと流れる水はプレーヤーの心を魅了し、その水に映る光・季節の花や樹々、緑のアンジュレーションの美しさもひとしお、そしてブラインドのグリーンやバンカーを作らないという近代の設計理念を受け継ぎ、さらに攻めるコースがふたつあることを選び、真にフェアなコースを指向して1ホール1グリーンを実現しました。すなわち当コース設計者・本橋繁一氏は、ヒルクレストゴルフクラブにて、戦略に富んだ美しいコースを見事に結実させたのであります。

ヒルクレスは訪れるプレーヤーの誰もが、感嘆するユニークな個性の陰にオーソドックスで確かな戦略性を秘めている。フラットなのでIP地点や、グリーンを見渡すことができ、池やクリーク、ハザードなどの位置も一目で確認できる。その上で、ホールの個性に応じて攻めていけるのだ。フェアウェイの微妙なアンジュレーションやパッティングクオリティの高いペントの大きなワングリーンなどは、共通していることだがプレーヤーに要求するものは、ホールによってすべて違っている。特に4つのショートホールは、みな美しく個人的。しっとり落ち着いた雰囲気3番に長く厳しい表情を見せる7番、大きな池を越える12番、そしてオーガスタショナルをほうふっさせるクリークの流れる17番、前半では6~8番、後半では11~13番に難易度の高いホールが続く、最後の3ホールでクライマックスを迎える。中でも難しい17番ショートに続くホームホールの18番は、コースの中でも唯一のエキサイティングなビューを持つ。

ティエグラウンドから池に浮かぶ島のようなグリーンを見下ろすと渾身の力がすべてバンカーで難攻不落の要塞のようにすら見える。それだけに征服したときの喜びは大きいのだ。

一方、日本の造園庭園美をイメージした美しいコースに調和して、日本伝統美を生かしたクラブハウスで寛ぐクラブライフは、五つの分科委員会が中心となって、「会員の為の会員による倶楽部運営」をめざして活発な活動を続けています。

お知らせ

10月1日より事務局の住所、電話番号、Faxが変更されました。

新住所 〒102 東京都千代田区麴町2-12
CTS麴町ビル8F

電話 03-5275-0931~3 Fax 03-5275-0934
何度か、ご案内いたしました、未だに旧住所の方に、ご連絡いただく倶楽部がございます。関係者知徹底下さるようお願いいたします。

常務理事会・理事会

平成3年度 第3回常務理事会議事録

日時 平成3年10月16日(水)午前11時~12時、午後13時30分~1時15分
場所 ホテルニューオータニ すいせんの間

出席者 細川理事長、中井、古賀、松浦各副理事長、相山、福田、北村、古茶、小宮山、松野、蜜沢、鍋島、斎藤、庄野、田中、渡邊各常務理事
出席者 大坪、神場、平山、桑原、吉澤理事(新規加盟申請倶楽部推薦)

細川理事長議長を務め、午前11時開会を宣し、順次議題審議を行った。

討議及び決議事項

1.平成4年度予算編成の件

平成2年度通常総会(平成3年2月22日)において、細川理事長より示された連盟財政の強化方針に基づき、関係委員会、3副理事長、及び事務局が策定した一般会計・特別会計の予算案を提示、事務局より詳細な説明、報告がなされた。質疑応答、慎重審議の結果、これを承認した。

尚、最終案は1月20日前後の決算、予算理事会にて決定、平成3年度通常総会に上程することを確認した。

2.年会費の値上げに関する件

現行のKGA、JGAの年会費は加盟倶楽部のホール数によって定額となっているが、かねてより、関係委員会において④入場者に応じた定率方式とする。⑤現行年会費額を値上げする等を検討してきた。今常務理事会には、事務局策定の試算案が提案され、活発な議論がなされ、慎重審議の結果次記の事を決定した。

- ①平成4年度は、JGAの現行年会費倍額決定にしたいが、KGAも暫定的に現行年会費を倍額とする。
- ②平成5年度より、入場者割とし、その金額、徴収方法については平成4年度上期中に具体案を決定する。

3.平成4年以降の関東オープン開催方式の件

尾関関東オープン準備委員長を中心に行われた上記の件について、中井副理事長(尾関準備委員長海外出張のため欠席)より次記の報告、提案がなされこれを承認した。

- イ、プロ協の公式公認競技からはずれても、地域のゴルフ振興、アマチュア、プロゴルフの育成上、有意義な競技であり、継続して開催する。
- ロ、開催にあたっては、国際性、社会性、

地域性をおびたチャリティーを企画する。

ハ、関東オープンの収支が主な内容である特別会計予算については、今後オープン準備委員会の具体案に基づいて策定する。

4.平成4年度連盟主催競技開催倶楽部及び日程について

別紙日程表を承認した。(7頁参照)尚、4年度より、関東女子、関東シニアの子連会場が各々1増、倶楽部対抗選手権が2会場(埼玉、静岡)、関東アマ決勝を4日間競技とすることを承認した。

また、今年度関東グラウンドシニアのエントリーが192名の多数となった。ために、4年度と同競技については、参加資格(Hdep見直し)、開催日等(現行は10月)の検討等を競技委員会において行うことを確認した。

5.平成3、4年度制日本ゴルフ協会評議員選任の件

KGAより選任された13名の平成元年、2年度を任期とする現評議員は9月30日をもって任期満了となったために、KGA加盟倶楽部数増に伴う、1名増の14名の平成3、4年度評議員候補者として次記の諸氏を選任し、JGA理事会に上程することを承認した。

- 藤井英男(桜谷ゴルフクラブ)
堀切治雄(龍ヶ崎カントリー倶楽部)
小宮山義孝(総武カントリークラブ)
三木春逸(鷹ヶ谷カントリー倶楽部)
森村大華生(程ヶ谷カントリー倶楽部)
尾関秀夫(武蔵カントリークラブ)
利光達三(富士小山ゴルフクラブ)
山田正彦(諏訪湖カントリークラブ)
以上 留任

- 山崎國雄(那須ゴルフ倶楽部)
小西達司(我孫子ゴルフ倶楽部)
玉井英二(霞ヶ関カントリー倶楽部)
石川 周(大洗ゴルフ倶楽部)
福井政男(相模カントリー倶楽部)
堀 正彦(小金井カントリー倶楽部)
以上 新任

6.新規加盟申請倶楽部入会審査の件

10月16日現在加盟申請のあった次記10倶楽部の入会審査を行いこれを承認した。

- ①ザ・フォーラムカントリークラブ(埼玉県)
- ②小千谷カントリークラブ(新潟県)
- ③糸川カントリークラブ(新潟県)
- ④京カントリークラブ(千葉県)
- ⑤カレドニアン・ゴルフクラブ(千葉県)
- ⑥ホウライカントリー倶楽部(千葉県)
- ⑦南茂原カントリー倶楽部(千葉県)
- ⑧ガーデンゴルフ倶楽部(茨城県)
- ⑨緑野カントリークラブ(群馬県)

⑩ヒルクレストゴルフクラブ(栃木県)以上10倶楽部の加盟により、加盟倶楽部総数は43となった。

7.JGA普通会員入会審査の件

10月16日現在、入会申請のあった高橋広久氏他6名の審査を行い、これを承認、JGAに届出を提出することとした。以上をもって、議題審議を終了、1時15分細川議長閉会を宣した。

平成3年度 第2回理事会議事録

日時 平成3年10月16日(水)正午
場所 ホテルニューオータニ ももの間

出席者 細川理事長、中井、古賀、松浦各副理事長、相山、福田、北村、古茶、小宮山、松野、蜜沢、鍋島、斎藤、庄野、田中、渡邊各常務理事

海老原、福田(人見)、福嶋、林、平山、広中、人見、神場、河西、河尻、桑原、前田、前川、盛川、太田、大坪、内田、横山、吉澤各理事
岩本監事
細川理事長議長を務め、午後12時30分閉会を宣し、順次議題審議を行った。

討議及び決議事項

1.平成4年度予算編成の件

平成2年度通常総会(平成3年2月22日)において、細川理事長より示された連盟財政の強化方針に基づき、関係委員会、3副理事長、及び事務局が策定した一般会計・特別会計の予算案を提示、事務局より詳細な説明、報告がなされた。質疑応答、慎重審議の結果、これを承認した。尚、最終案は、1月20日前後の決算、予算理事会にて決定、平成3年度通常総会に上程することを確認した。

2.年会費の値上げに関する件

中井副理事長より次記提案がなされ、これを承認可決した。

「先に開催した第3回常務理事会において④平成4年度についてはJGAの現行年会費倍額にしたが、KGAも暫定的に現行年会費を倍額にする。⑤平成5年度より基本的に入場者割とするも、その金額、徴収方法等については、今後十分検討審議を重ね、4年上期まで具体案を決定する。」

3.平成4年度以降の関東オープン開催方式の件

尾関関東オープン準備委員長を中心におこなわれた上記の件について、中井副理事長(尾関準備委員長海外出張のため欠席)より次記の報告、提案がなされた

分科委員会

これを承認した。

イ、プロ協の公式公認競技からはずれても、地域のゴルフ振興、アマチュア、ゴルフファアの育成上、有意義な競技であり、継続して開催する。

ロ、開催にあたっては、国際性、社会性、地域性をおびたチャリティを企画する。

ハ、関東オープン取支が主な内容である特別会計予算については、今後オープン準備委員会の具体案に基づいて策定する。

4.平成4年度連盟主催競技開催倶楽部及び日程について

別紙日程表を承認した。

尚、4年度より、関東女子、関東シニアの子選会場が各々1増、倶楽部対抗予選が2会場(埼玉、静岡)、関東アマ決勝を4日間競技とすることを承認した。

また、河西理事(競技副委員長)より次記の提案がなされこれを承認し「今年度関東グランドシニアのエントリーが192名の多数となった。ために、4年度の同

競技については、参加資格(Hdcp見直し)、開催日等、(現行は10月)の検討等を競技委員会において行うことを承認した。」

5.平成3、4年度財日本ゴルフ協会評議員選任の件

KGAより選任された13名の平成元年、2年度を任期とする現評議員は9月30日をもって任期満了となったために、KGA加盟倶楽部数増に伴う、1名増の14名の平成3、4年度評議員候補者として次記の諸氏を選任し、JGA理事会に上程するめことを承認した。

- 藤井英男(桜ゴルフクラブ)
- 堀切治雄(龍ヶ崎カントリー倶楽部)
- 小宮山義孝(総武カントリークラブ)
- 三木春逸(鷹ヶ台カントリー倶楽部)
- 森村大華生(程ヶ谷カントリー倶楽部)
- 尾関秀夫(武蔵カントリークラブ)
- 利光達三(富士小山ゴルフクラブ)
- 山田正彦(諏訪湖カントリークラブ)
- 以上 留任
- 山崎國雄(郡須ゴルフ倶楽部)
- 小西達司(我孫子ゴルフ倶楽部)

- 玉井英二(霞ヶ関カントリー倶楽部)
- 石川 周(大洗ゴルフ倶楽部)
- 福井政男(相模カントリー倶楽部)
- 堀 正彦(小金井カントリー倶楽部)
- 以上 新任

6.その他

イ、JGAハンディキャップ査定に関する件

渡邊ハンディキャップ委員長より、次記の提案がなされ、これを承認可決した。

「JGAハンディキャップ方式未実施倶楽部所属会員が、KGA主催競技出場に必要なハンディキャップ査定」については、

- ①毎年12月末日、6月末日を締め切りとし、倶楽部単位で申し込みさせる。
 - ②査定は毎月1月末、7月末までに、各県担当ハンディキャップ委員が互い、証明書を発行する。
 - ③有効期間は査定日より6ヵ月とする。
- 以上をもって、議題審議を終了、午後1時30分細川理事長閉会を宣した。

月例競技成績表

〔平成3年度7月月例〕

7月26日(金)
我孫子ゴルフ倶楽部

(男子) 参加112名

順位	氏名	倶楽部	771	合計
1	横田真一	専修大学	37	71
2	宮 辰夫	習志野	37	72
3	神戸 誠	大田淑峯	36	73
4	飯田哲男	袖ヶ浦	38	73
5	竹石 誠	汎 波	36	74
	沢田信弘	長 南	37	74
	内藤正幸	桜ヶ丘	38	74
	和田 博	東京五日市	35	74
コース・レート			72.3	

(女子) 48名

順位	氏名	倶楽部	771	合計
1	加藤勝栄	相模原	38	80
2	中野雅子	新千歳	43	81
	三木忠実	富 士	40	81
コース・レート			71.1	

〔平成3年度8月月例〕

8月13日(火)
横浜カントリークラブ(西コース)

(男子) 81名

順位	氏名	倶楽部	771	合計
1	大田再典	大相模	34	66
2	沢田信弘	長 南	33	68
3	高安信行	セントラル	34	70
	小川 透	岡部ナサン	35	70
5	斎藤征修	南摩城	36	71
	藤野博之	船 橋	36	71
	市川 賢	東京国際	37	71
	原 藤雄	東名厚木	35	71
	能川茂美	戸 塚	34	71
コース・レート			71.4	

(女子) 37名

順位	氏名	倶楽部	771	合計
1	加藤勝栄	相模原	41	79
2	島崎利江	鎌ヶ谷	40	80
3	菊地あつ子	白 帆	42	81
	青木英子	東 筑波	42	81
	伊藤結花	ザ・レイクス	42	81
	宮原早苗	狭 山	40	81
	江夏良枝	横 浜	40	81
コース・レート			69.7	

〔平成3年度9月月例競技〕

9月27日(金)
江戸崎カントリー倶楽部

(男子) 113名

順位	氏名	倶楽部	771	合計
1	大友富雄	塩 原	35	69
2	森田 徹	ニッソー	32	70
	小川 透	岡部ナサン	34	70
	石井 幹	千歳スプリングス	35	70
5	新村シオ子	業 業	35	71
	金谷慎孝	明治大	35	71
コース・レート			72.8	

(女子) 59名

順位	氏名	倶楽部	771	合計
1	菊地あつ子	白 帆	38	74
2	加藤勝栄	相模原	38	76
3	市川慶子	江戸崎	42	77
コース・レート			69.6	

〔平成3年度10月月例競技〕

10月21日(日)
日高カントリークラブ(東・西コース)

(男子) 75名

順位	氏名	倶楽部	771	合計
1	宮 辰夫	習志野	35	74
	原 藤雄	東名厚木	35	74
3	亀井 隆	康 沢	40	75
	林 大作	日本大	37	75
5	平本桂樹	大相模	39	76
	中原正人	大相模	39	76
	室伏健二	業 名	38	76
	金谷慎孝	明治大	35	76
コース・レート			71.7	

(女子) 42名

順位	氏名	倶楽部	771	合計
1	五十嵐千子	藤 岡	43	81
2	渡辺恵子	高 根	41	82
3	田中桂子	日 高	42	83
	加藤勝栄	相模原	41	83
コース・レート			68.1	

平成3年12月1日発行 KGAニュース No.37
発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03)5275-0391
発行人/細川 護 貞 編集/広報委員会